

アンケートの実施結果概要

市民向けアンケート、高知工科大学学生向けアンケート、市内の中学2年生向けアンケートの3種類を実施しました。

1 「第2次香美市振興計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」市民アンケート

(1) 調査方法

郵送による配布・回収

(2) 調査期間

令和7年(2025年)11月

(3) 回収結果

配布数 1,500人(市民向け:1,315人、各自治会長向け185人)

有効回収数 625件(市民向け:515件、自治会長向け:110件)

有効回収率 41.7%(市民向け:39.2%、自治会長向け:59.5%)

(4) 分析レポート概要

i 地域の評価

- 「自家用車があれば選択肢が増えて便利だが、車がない(免許返納含む)と生活が破綻しかける」という移動手段による二極化の傾向が見られます。
「あけぼの街道」など主要道路の整備が進み便利になったという声がある一方で、「公共交通(バス・JR)の減便」に対する切実な不満や将来不安が圧倒的多数を占めていることから、本市の公共交通に対する不満は大きいと推察されます。
 - 公共交通対策の強化が必要と考えられます。この点は、高知工科大学生のアンケート結果でも同様でした。
- 「市内には魅力的な就業先がない(少ない)」という意見が圧倒的多数を占めており、多くの市民が「市内は住む場所、働く場所は市外」というベッドタウン的な認識が定着しているようです。
 - 若年層転出傾向が高く、結果、婚姻率や合計特殊出生率が低い一つの要因と推察されます。
- 「空き家・耕作放棄地の増加による環境悪化(草刈りや景観)」への懸念が急速に高まっていました。
 - 空き家対策の強化が必要であると考えられます。
- 「小児科・産婦人科・専門医(眼科・耳鼻科等)の不足」と、「かかりつけ医(個人医院)の閉院・減少」に対する不安が多く見られました。特に子育て世代は「市内で子どもを診てもらえない」ことに強い不満を持っています。また、子育て世代からは「雨の日に遊べる場所がない」といった声もありました。

- 医療アクセスへの対策が必要となっており、南海トラフ地震対策の視点からも重要な施策と考えられます。まずは、いつ頃どういう状況になり、どういった対応が行政、市民に求められるかを示す必要があると考えられます。
- アパート居住者や新住民には、地域の防災体制から取り残されているという疎外感が見られました。
 - 自主防災組織が転入者や転居者を把握する仕組みを構築し、連携に向けての調整が必要と考えられます。

ii 幸福度（10点満点）

居住地別で大きく平均幸福度は変わりません（土佐山田町：6.45、香北町：6.49、物部町：6.69）でしたが、物部町では「4点」以下の回答はないものの、将来の幸福度予想では、物部町で平均を大きく下回る結果となりました。中山間地域は不便なイメージがありますが、住んでいる人の幸福度は高い、または市街地と変わりません。

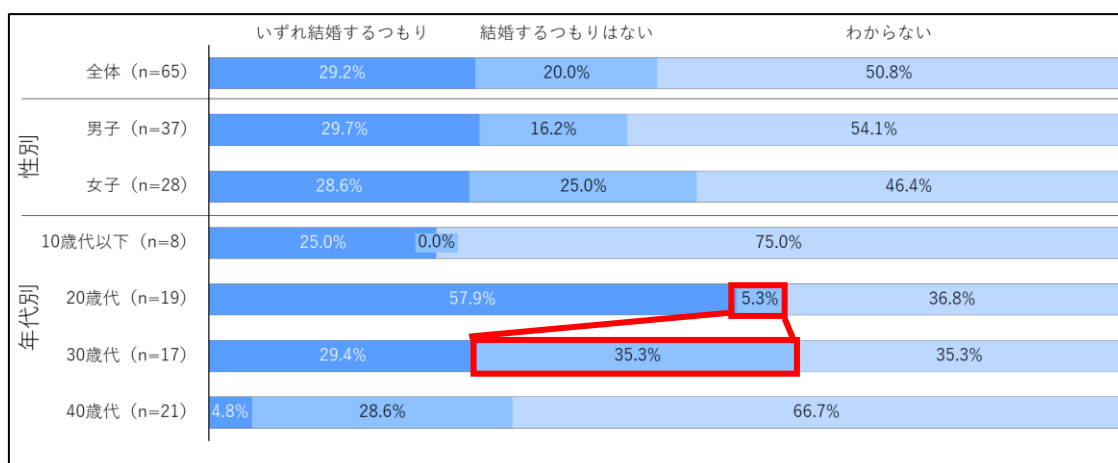
iii 地域の人間関係

地域とのつながりを大事にする一方、多様性や寛容性に関しては課題が見られました。

女性にとって住みづらい環境であるため、人口減少対策における若年女性の転出防止という観点からはマイナスであると考えられます。

iv 今後の結婚意向

30代になると「結婚するつもりがない」が急増することがわかりました。



結婚しない理由としては、「経済的・精神的に自由でいたい」、「結婚したいと思える相手がない」が多く、一般的に聞かれる「結婚資金がない」、「家族を養うほどの収入がない」は、その4割弱となっています。しかし、40代に限れば約7割に上ります。

就職氷河期世代は生涯年収が低い、または結婚に必要と考える所得を大きく見積もる傾向がある、若しくは児童手当等の施策が普及したことから経済的な不安などが小さくなっていることが推察されます。

v 子育て・育児

医療体制を筆頭に、総じて不満を感じている保護者が多くなっています。

- 情報発信については紙媒体ではなく、ホームページやスマホアプリを希望しています。
 - スマートフォンで情報収集をする世代であるため、情報発信のあり方を見直すべきと考えられます。
- 保育士の資質に関わる不満がいくつか聞かれています。
- 入園はしやすいといった評価となっている一方で、病児保育や未就園児の一時預かりといった点に不満があるようですが、情報が正確に伝わっていない可能性も推察されます。

vi 政策評価

現行の計画は施策が67にもわたり、一般向けアンケートからは外すべきであるときれ、自治会長向けアンケートで実施しましたが、満足度や重要度以前に平均認知度が8.85%と低く、評価以前に認知されていません。

振興計画において、もっとも重要な評価項目であるにもかかわらず、評価が行えない状況となっています。

- 計画の体系を根本的に見直す必要があると考えています。

2 高知工科大学生向けアンケート

(1) 調査方法

香美市電子申請サービスによるWEBフォーム

(2) 調査期間

令和7年(2025年)10月

(3) 回収結果

学生数 2,791人(学士課程2,440人、大学院351人、男性2,149人、女性642人)

有効回収数 129件

有効回収率 4.62%

(4) 分析レポート概要

i 属性

県内学生が10年前の半数程度となっています。

大分県の学生が増えており、工科大学との連携協議会で確認したところ、大分県出身のOBの影響とのことでした。

ii 生活環境

経済的に困窮していると思われる学生が、4分の1程度いる可能性があります。

バスの利用者が6割を超えており、増便とキャッシュレス決済の導入の希望が多い結果となりました。

iii 市の魅力

香美市に住みたくないとする学生が過半数となっており、「商業・娯楽施設の不足」、「交通の不便」が理由となっています。

県外学生が増えていることから、土佐山田町内から大学への移動手段(公共交通など)や大学周辺で生活できる環境整備が必要であると考えられます。

3 市内の中学2年生向けアンケート

(1) 調査方法

教育委員会の準備したWEBフォーム（Google フォーム）

(2) 調査期間

令和7年（2025年）10月～12月

(3) 回収結果

生徒数（内訳）169人（男性85人、女性84人）

有効回収数 131件

有効回収率 77.51%

(4) 分析レポート概要

i 香美市について

- ネットゲーム、SNSの利用時間が伸びています（特に男子生徒）。
- 香北、物部の生徒は、買い物や飲食する施設、塾などを欲しています。

ii 将来について

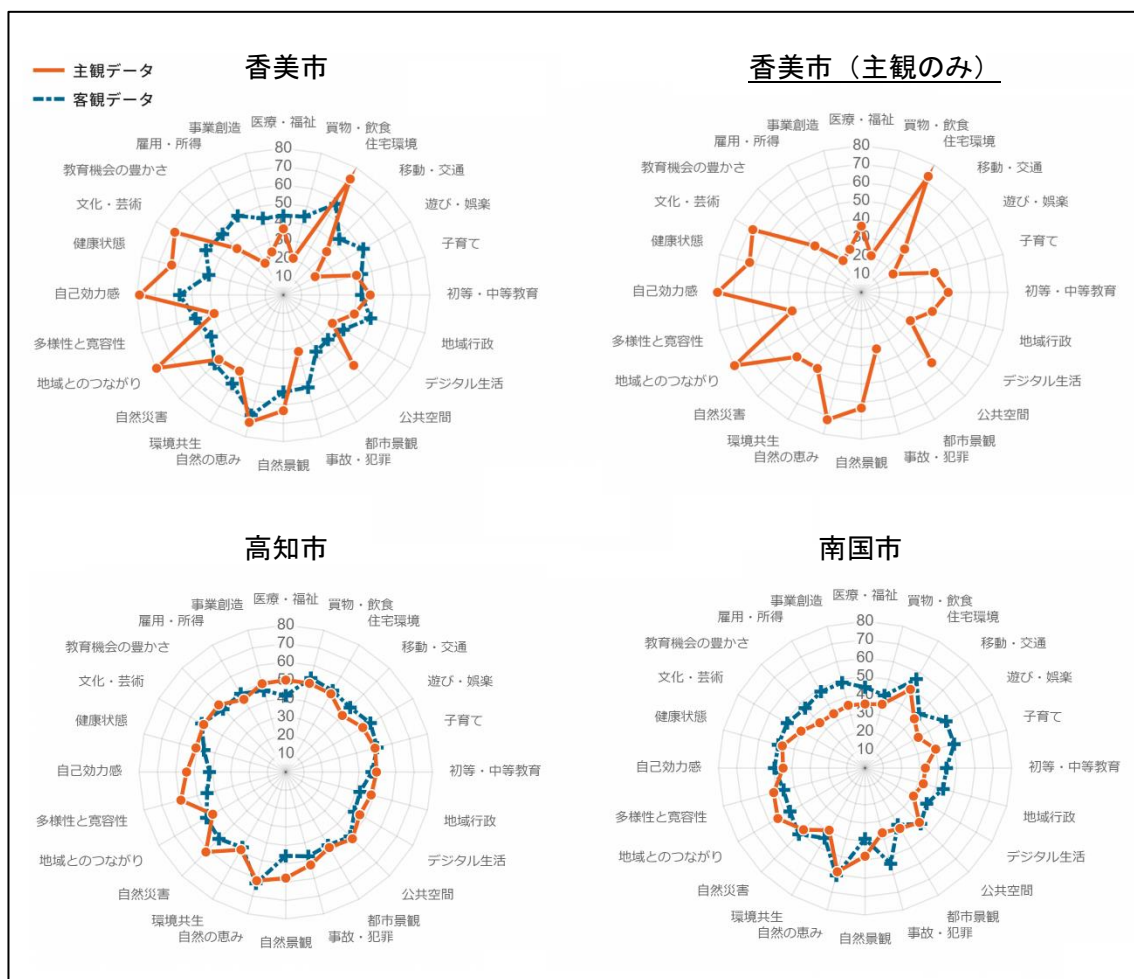
- 県外への転出を希望する学生が増えています。ただし、具体的な理由はないため、将来について決めかねているという生徒が多いと推察されます。

4 Wellbeing（ウェルビーイング）指標について

第3次香美市振興計画の策定指針において、Wellbeing 指標の視点を盛り込むとしており、市民向けアンケートでデジタル庁の規定に沿った Wellbeing 指標アンケートを実施しました。高知県内では、高知市と南国市で全国調査が毎年実施され、室戸市、中土佐町、佐川町は令和6年度に独自調査を実施しており、比較可能となっています。

レーダーチャートからは、「事業創造」や「雇用・所得」の客観的指数は高知市と比較して大きく低いわけではないものの、市民の主観は低い数値となっています。反対に「公共空間」や「地域とのつながり」は高い数値となっています。

図 カテゴリー別レーダーチャート



カテゴリー別の主観指数を高知市、南国市と比較すると、「買い物・飲食」や「遊び・娯楽」、「雇用・所得」、「事業創造」が低く、若者の人口流出が多いといった内容と符合しています。

一方、「住宅環境」や「公共空間」、「自然景観」は高くなっており、住宅を建てる30代の転入が多いことと符合しています。

「自己効力感」「健康状態」「文化・芸術」の偏差値が高く、「自己効力感」と「健康状態」は幸福度との相関関係が比較的強く出ています。

表 カテゴリー別の偏差値一覧

カテゴリー	香美市	高知市	南国市	室戸市	佐川町	中土佐町
医療・福祉	36.1	41.6	34.9	20	52.7	35
買物・飲食	20.7	53	36	20	39.5	20
住宅環境	73	51.2	49.5	45.4	76.4	35.7
移動・交通	33.4	49.7	38	25.1	47.4	33.9
遊び・娯楽	20	53.3	33.5	20	49.1	23.4
子育て	41.3	51.6	39.9	20	67.3	50.4
初等・中等教育	47.4	47	32.9	20	55.2	26.5
地域行政	40.1	41.9	32.9	22.1	60	43.9
デジタル生活	30.9	43.3	30.5	21.7	63.1	43.5
公共空間	54.3	49.7	41.9	25.4	66.5	51.3
都市景観	-	46.1	38	38.1	59.6	49.5
事故・犯罪	31.9	47.5	36.5	37.7	57.5	49.1
自然景観	63.1	45.7	48	59.9	74.4	65.9
自然の恵み	71.9	62.8	58.5	69.9	78.7	77.2
環境共生	47.9	47.4	39.1	32.7	69.5	56.3
自然災害	49.7	51.5	47.5	29.4	68.5	64.5
地域とのつながり	79.9	49.9	54.9	68.5	80	80
多様性と寛容性	39.1	44.4	51.6	33.7	80	54.1
自己効力感	78.5	41.6	44.7	53.3	80	67
健康状態	63.1	46.2	46.7	36	80	64.4
文化・芸術	68.4	52.9	40.3	50.1	80	51.4
教育機会の豊かさ	35.8	48.4	34.9	20	74.1	28.7
雇用・所得	20	49.2	34.2	20	54.9	21.7
事業創造	24.3	46	35.4	20	66.7	21.6

※黄色のセルは、3市のうち最も値が高い市のセル

※灰色のセルは、3市のうち最も値が低い市のセル

※太字は香美市の値が、ほか2市と比較して10以上高い又は低い偏差値